

第15回総合振興計画推進本部会議 意見一覧表

項番	頁	具体的な箇所	意見
1	2頁	第1部第2節 将来都市構造を構成する要素	<p>(1) 都市機能の集積を促進する拠点：① 都心 「2都心がそれぞれの特徴や強みを生かし、<u>すことで両地区の機能分担を図るとともに</u>、都心間の連携を強化することで・・・」</p> <p>【理由】大宮、新都心と浦和の機能分担について、浦和区から市役所移転が決まった今、明確化することは市民等の軋轢等を生む可能性があることから、連携を強化しながら市全体として東日本の中枢都市の形成を目指すとの記述で止めた方が良いと考えるため。</p>
2	3頁	第1部第2節 将来都市構造を構成する要素	<p>《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区》：地区の現状・特性・地域資源等 「本庁舎の移転整備に合わせて、<u>駅からの歩行空間の確保や周辺の公共的空間、業務機能、交流機能施設等</u>と連携したまちづくりに取り組む必要があります。」</p> <p>【理由】本庁舎の移転整備に合わせ、駅からの歩行空間の確保が必要であり、また、周辺施設よりも施設の例示をした方が、連携のイメージがしやすいため。</p>
3	3頁	第1部第2節 将来都市構造を構成する要素	<p>《大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区》：目指す方向性 「その上で、<u>本庁舎整備も契機に</u>、両地区の中間エリアのまちづくりや居心地が良く歩きたくなる街なかの創出などに併せて取り組むことで、両地区の連携を深めつつ一体的な都心としての形成を進めます。」</p> <p>【理由】本庁舎の移転が周辺のまちづくりに弾みをつけることを示すため。</p>
4	6頁	第1部第2節 将来都市構造を構成する要素	<p>(3) 水と緑のネットワークの骨格 「・・・とともに、都心部においては、見沼田圃の<u>緑を有する多様な価値との近接性</u>を生かした都市空間を形成することで」</p> <p>【理由】現行案は、都心部と見沼田圃の位置関係のみの記載に止まっているが、見沼田圃の広義的な特徴を追記したほうが良いと考えるため。</p>
5	6頁	第1部第2節 将来都市構造を構成する要素	<p>■将来都市構造イメージ：図の凡例 「<u>新たな東西連携軸-(構想)-</u>」</p> <p>【理由】本文中に「2つの東西連携軸の間に、新たな東西連携軸を形成し、ネットワークの代替性や多重性の確保を図ることで、・・・」と記述があることから整合を図るため</p>

項番	頁	具体的な箇所	意見
6	8	第2部第3章 重点戦略	<p>戦術5 ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造目指す方向性  「<del>広く広域的な</del>支援・受援を可能とする新庁舎を整備することから、広域的な防災拠点・・・」</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広域的」が同じ文書に2回記述されていること。</li> <li>・広く支援・受援とすることで、広域という空間的なことに加え、ヒト・モノ・カネの支援等を受けることを含められるため。</li> </ul>
7	9頁	第3部第9章 都心インフラ	<p>第1節 人を呼び込み交流を促す都市インフラ：現状と課題  「<del>平成26(2014)年3月に策定した</del>「さいたま新都心将来ビジョン」に基づき、」</p> <p>【理由】さいたま新都心将来ビジョンは、総合振興計画基本計画の改定や本庁舎整備等基本計画の策定にあわせ、改定を予定しているため。</p>